

2011年8月研究会

日 時：2011年8月1日（月曜）18:00～19:30

会 場：同志社大学寒梅館 6 階会議室

講演者：花堂靖仁氏（早稲田大学大学院商学研究科特任教授）

演 題：「事業承継にガイドラインが必要ではありませんか」

司 会：桑木小恵子会員（同志社大学 ITEC、本学会理事）

主 催：一般社団法人事業承継学会

同志社大学技術・企業・国際競争力研究センター（ITEC）

参加費：無料

.....

講師プロフィール

花堂靖仁（はなどう やすひと）

1941年、東京都生まれ。1965年、早稲田大学第一商学部卒業。1970年、早稲田大学大学院商学研究科博士課程単位取得、同年、國學院大学講師に着任。同大学助教授、教授を経て、2003年より早稲田大学大学院特任教授。財務会計および情報開示を専攻。社会活動に関しては、日本インベスター・リレーションズ学会理事（特別顧問）、日本 IR 協議会企画委員、全米 IR 協会（NIRI）会員、経済産業省産業構造審議会経営・知的資産小委員会委員、中小企業基盤整備機構中小企業知的資産経営研究会副委員長、WBS 研究センター知的資本研究会（WICRS）主宰等を歴任。著書に『XBRL の衝撃』（ダイヤモンド社）、『IR・コミュニケーション戦略』（共著、中央経済社）、『連結会計をめぐる米国財務会計基準の動向』（共著、企業財務制度研究会）、『IR 実務者の手引き』（共著、日本 IR 協議会）、『連結会計基準の国際的調和』（共著、白桃書房）、『コーポレート・レピュテーション』（監訳、東洋経済新報社）等多数。



事務局報告

本研究会は、事業承継学会と同志社大学 ITEC が共催する形で開催されました。

今回は、早稲田大学大学院商学研究科教授の花堂靖仁氏をお招きし、知的資産経営論の視点から、事業承継に対するガイドラインの必要性についてご講演いただいた。講演では、冒頭において、事業承継計画の立案にあたり、承継対象が存続に値する事業であるか否か

を、また、その継続可能性を分析・評価して、具体的対策（親族内承継、従業員等への承継、M&A）の選択基準を示す必要があるのではないのかという問題提起が行なわれ、それに対して、国内外の豊富な知見を踏まえつつ、事業承継の評価ポイントのあり方について踏み込んだ議論が展開されました。

本研究会の出席者数は 25 名でした。